

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

偶発性低体温症に対する体外式膜型人工肺(ECMO)の有用性についての学会主導多施設共同前向き観察研究

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院救急科

【研究責任者】 邑田悟（救急科 病院助教）

【研究代表者】 高氏修平（旭川医科大学救急医学講座 助教）

【研究の目的】

過去に受診された偶発性低体温症患者さんの診療録(カルテ)の情報を収集し、治療方法や有効性について評価する研究を行うことといたしました。この研究は偶発性低体温症における有効な治療方法の検討を目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

(対象となる患者さん) 2019年4月から2022年3月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち偶発性低体温症と診断された患者さん

(院外調査項目) 性別、年齢、日常生活動作(発症前)、居住環境、基礎疾患、内服薬、アルコール有無、発生日時、外気温、発生場所(屋内・屋外)、原因、来院までの時間経過、来院手段(直接外来受診、救急車、ヘリ)

(院内調査項目) バイタルサイン(体温、血圧、心拍数、Glasgow Coma Scaleスコア)、血液検査結果(末梢血、生化学、肝腎機能、凝固線溶系、動脈血ガス分析)、CT画像(筋肉量測定)、心電図波形(洞調律、心房細動、心室細動、無脈性電気活動、心静止)、心肺蘇生法(Cardiopulmonary Resuscitation; CPR)

の有無（機械式 CPR の有無、CPR 時間）、復温治療手段（加温輸液、ブランケット、胃管温水洗浄、膀胱温水洗浄、人工透析、ECMO）、気管挿管の有無、カテコラミン使用日数、重症度スコア（SOFA スコア、DIC スコア）、輸血の有無、復温までの時間、ECMO 導入までの時間経過、ECMO 施行時間、ECMO 離脱率、合併症発生率（出血、肺炎、下肢虚血、膵炎、腎不全）、ICU 滞在日数、28 日・病院転帰
（退院後調査項目）神経学的評価、合併症

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。
対象となる患者さんのデータは、匿名化されて、CD-R に保存した電子ファイルを郵送することによって旭川医科大学に送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<情報の管理責任者> 旭川医科大学 救急医学講座 高氏修平

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院救急科 邑田悟
791-0295 愛媛県東温市志津川
Tel: 089-960-5107